

活動名：2016 スキー体験会

日 程：平成28年2月20日（土）～21日（日）

場 所：猪苗代スキー場、表磐梯七ツ森ペンション村

参 加：トップ5、6、G（6年生）クラス 23名

帯 同：小松コーチ、貝和スタッフ、横山（指導者）、緑川（保護者）

報 告：横山直也（スキー指導者）

FCアーレのスキー体験に講師として参加させてもらい、3年目となりました。

スキーという季節限定の自然の中で行うウィンタースポーツの魅力を体験してもらえることは、非常に嬉しい限りです。

学区を越えたアーレの仲間達と宿泊でスキー体験をすることが出来るのですから、子供達にとっては貴重な経験、思い出になるのだろうなと思います。

さて、今回のイベントでは、出発したバスの中で、以下注意事項を子供達に話をして、2日間を過ごしました。

- ① 危険行為をしない
- ② 宿泊場所やスキー場施設に迷惑をかけない
- ③ 道具を大切に使う
- ④ 仲間で「もめること」は言わない、しない
- ⑤ 忘れ物はしない
- ⑥ 食事で出されたものを残さず食べる

アーレの選手は、日頃の練習や大会、夏合宿などでコーチたちに指導されていることで、

①～④はよく守れていたと思います。

⑤の忘れ物は少しだけありましたね。

⑥は、夏合宿同様に美味しい食事がボリューム満点なので、みんなで協力し合いながらの対処となりました。

宿の食事の後片付けや、スキー道具の準備などは、割り当てられた当番でなくとも、率先して手伝えるなど、「成長しているなあ」と凄く感じる事が出来ました。

肝心のスキーはと言いますと、望んだ天候ではありませんでしたが、仲間と一緒に滑る楽しさ、メキメキと上達する楽しさが完全に上回っていたようです。

とにかく「休まない」、「休ませてくれない」という状況でしたし、「滑り足りない」、「もっと滑りたい」という声も聞かせてくれました。

私の担当したグループで滑る時も、転倒者に「大丈夫？」「邪魔しちゃった、ごめんね」

と声を掛けたり、自分の後から遅れて滑ってくる仲間に「遅いぞお～」など言わずに待つことが出来ており、少し出来過ぎではないかと思いました(笑)

今後も子供達には、サッカーをはじめ、色々なスポーツの体験を通して成長して欲しいですし、保護者の方にはそんな環境を沢山つくって頂ければと思います。

今回は小松コーチの他に、一般クラスの緑川キャプテン、貝和さんにもお手伝いを頂いての実施となりました。

ご協力、ありがとうございました。

反省会やりましょう(笑)

最後に…

福島県はスキー、スノーボードが出来る環境が近く恵まれております。

子供達のこの体験をキッカケとして、ご家族やお仲間でスキー、スノーボードを楽しんで頂ければ、「雪山好き」としては最高です！









